

第3回

健康のため水を飲もう川柳

結果発表

応募総数

6,372句!!

Congratulations!

第3回健康のため水を飲もう川柳とは？

「水と健康」「水とからだ」「水とスポーツ」「水とお酒」「水道水」にまつわるエピソードを川柳にする「健康のため水を飲もう川柳」。

第3回の今回は、妻や孫からの優しさ、お酒にまつわる思い出、世界に誇る日本の水道水などを取り入れて表現した 6,372 句が集まりました。

※募集期間：平成 30 年 11 月 19 日(月)～平成 31 年 1 月 11 日(金)

力作の川柳
皆様ありがとうございます

多数の応募の中から、見事「最優秀賞」に輝いた作品、
惜しくもグランプリを逃したものの「入選」を果たした作品を発表いたします。

最優秀
賞

賞状及び現金 5 万円

健康に
転ばぬ先の
水一杯

受賞
コメント

成澤 淑子さん(宮城県)

水分補給の大切さと怖さについては、親として息子たちに折にふれ力説してきました。あとの祭りにならぬよう、転ばぬ先の杖ならぬ、水一杯。まさに健康な生活を送るための心得と言えるのではないのでしょうか。危機意識をもちつつ、意識的に水分補給することの習慣化がなされれば、しめたものですね。

入賞

賞状及び図書カード1万円分



高齢化
水分補給
恒例化

受賞
コメント

田邊 万規さん
(和歌県)

日本では当たり前のように「水」がある有り難さ、またそれを支えられている水道関係の皆様へ感謝とともにこういう催しを通して、もう一度水の事を考えていく大切さを感じております。

チャージして
スマホ、充電
人は水

受賞
コメント

星野 のぶこさん
(埼玉県)

うっかり携帯を確認しなかったら充電切れで使えなくなった経験と、真夏に室内にいたにもかかわらず脱水になり、動けなくなったという二つの経験があります。この経験から、この句で、こまめに水分を意識してチャージすることの必要性が伝わり、多くの人の脱水予防につながれば嬉しいです。

水飲もう
今さらでなく
今、さらに

受賞
コメント

見澤 禎夫さん
(埼玉県)

非常にありがたい賞に家族ともども驚いております。これを機にいっそう水を飲むよう心がけていきたいと思います。



講評



本委員会委員長
[東京大学名誉教授]
武藤 芳照氏

川柳は、五・七・五の17文字に、季語や切れ字の制約なく、自由に表現できる日本独自の誇るべき短詩型文学です。

風刺・機知・ユーモアを巧みに取り入れてまとめ上げ、その句に接した人が、思わず「ニッコリ」「ニヤリ」としたり、笑い声を生む句が優れているとされています。

その川柳のチカラを活用して、「健康のため水を飲もう」の社会啓発を図ろうと企画し、今年で3年目になりました。

全国から数多くの面白い作品が寄せられ、審査委員会では受賞作品の選考に頭を悩ませるほどでした。

予防の大切さ巧みに訴えた最優秀賞作品の他、入選作も習慣づけ・スマホなど、いずれも現代性や啓発力に富んだ秀作ばかりです。これらが、土に水がじわじわと沁みこむように、社会に広がることを希望しています。